

5 本時の目標

- 日常着の手入れのしかたについて理解することができる。

(生活や技術についての知識・理解)

6 学習指導過程

	学習内容及び生徒の活動	指導上の留意点	評価の観点	備考
気づく	1 前時の復習をする。			(一斉)
	2 衣服の手入れで、失敗した経験を発表する。 (失敗例を実物で見る。)	○ なぜ失敗したのかを考えながら実物を見るよう助言する		(一斉) 実物
	3 本時の目標を確認する。			(一斉)
つかむ	課題 : 日常着の手入れのしかたについて調べよう			
求める	4 洗剤のはたらきについて師範実験を観察する。 ・浸透作用 ・乳化作用 ・分散作用 ・再汚染防止作用	○ 洗剤のはたらきについて実験を通して説明する。		(個人) ワークシート 実験用具 ・洗剤 ・ピーカー ・すす ・布 ・水
	5 課題を調べる。 (1) 衣服材料(繊維)の種類と性質について知る。 (2) 繊維ごとの性質や、手入れ方法の違いを知る。	○ 自分が持参した日常着の組成表示をワークシートに記入させる。 ○ 適する洗剤、漂白剤、アイロンの温度が違うことを説明する。		(個人) ワークシート (一斉)
まとめる	6 課題を解決する。 (1) 体操服 (2) 制服ベスト	◎ 班内で意見を出し合い考えをまとめさせる。		(グループ)
	7 本時の学習をまとめる。 環境に配慮した洗たくのしかたについて考える。 ・水量や風呂水の利用 ・洗剤の種類と分量	○ 今までの学習内容や経験をもとに意見を出し合い、グローバルに考えるよう助言する ○ 自分の生活を見直し、家庭生活への実践化を図るよう助言する。		(一斉)
	8 自己評価を行う。	○ 自己評価表に記入させる。	日常着の手入れのしかたについて理解することができる (ワークシート・発表)	(個人)
	9 次時の学習内容を確認する。			